

# たてしん通信

003号



創立90周年事業としてスタートして今回で5回目となりました。

平砂浦海岸植樹事業



『千葉県PRマスコットキャラクター チェーバくん』

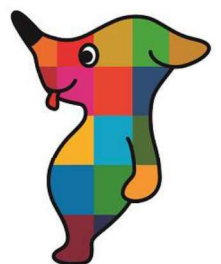
令和 4年 4月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

## 幹部職員の異動について

### 専務理事 渡邊 文雄

R04/03 専務理事就任  
R01/06 常務理事就任・業務部長  
H29/07 常勤理事・業務部長  
H27/06 常勤理事就任・総務部長



### 常勤理事業務部長 北 浩栄

R04/03 常勤理事・業務部長  
R01/06 常勤理事就任・総務部長  
H29/07 企画部長  
H27/07 本店長



### 総務部長 石井 茂一

R04/03 総務部 部長  
R03/07 総務部 副部長  
R02/07 業務部 副部長兼営業推進課長  
H31/04 本店長



### 監査部長 谷口 雅史

R04/03 監査部 部長  
R03/05 監査部 副部長兼監査課長  
R02/04 総務部 総務課長  
H31/04 業務部 業務管理課兼業務指導課長



## 補助金情報

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の売上回復等が期待し難い中、ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するため、事業者の皆様へ様々な補助金による支援があります。

### ○中小企業等事業再構築促進事業(事業再構築補助金)

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、中小企業等が、新分野展開や業態展開などの事業再構築を通じて、コロナ前のビジネスモデルから転換する必要性は、依然として高い状況にあります。これらの取組みを通じた規模の拡大等を目指す事業者の新たな挑戦を支援する事業です。

### ○生産性革命推進事業(①ものづくり補助金・②持続化補助金・③IT導入補助金)

感染対策と経済活動の両立に資する設備導入や販路開拓への投資、テレワークや2023年から始まるインボイス制度等に対応したITツールの導入等を行う事業者を支援する事業です。パソコンやタブレット、レジなども一部対象になります。

館山信用金庫では、これら補助金情報の提供や専門家紹介等、お客様の補助金申請のお手伝いをさせていただきます。お気軽に最寄りの営業店にお声掛けください。

# たてしん中小企業景況レポート No.17

令和4年(2022年) 1月～3月

編集・発行：館山信用金庫  
支援部  
TEL:0470-29-3015



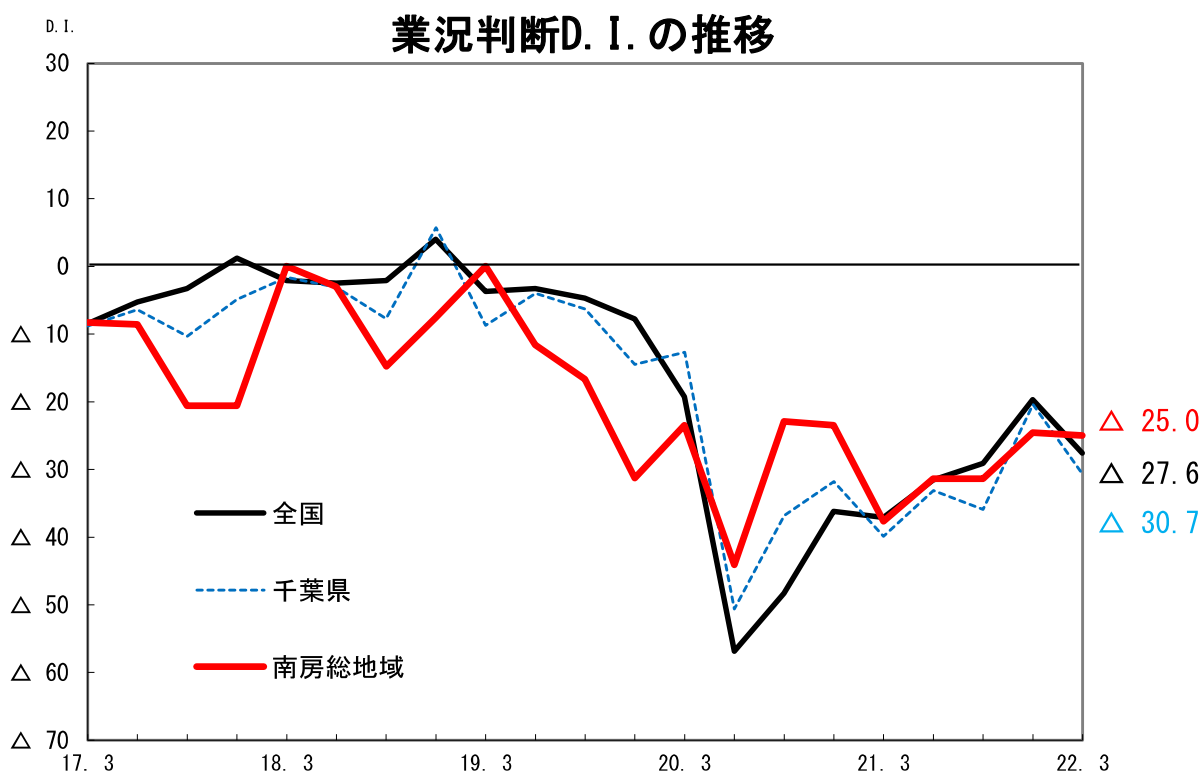
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

## <概況>

令和4年(2022年)1～3月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 27.6$ 、前期に比べ7.9ポイントの低下となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し( $\Delta 21.1$ )を6.5ポイント下回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

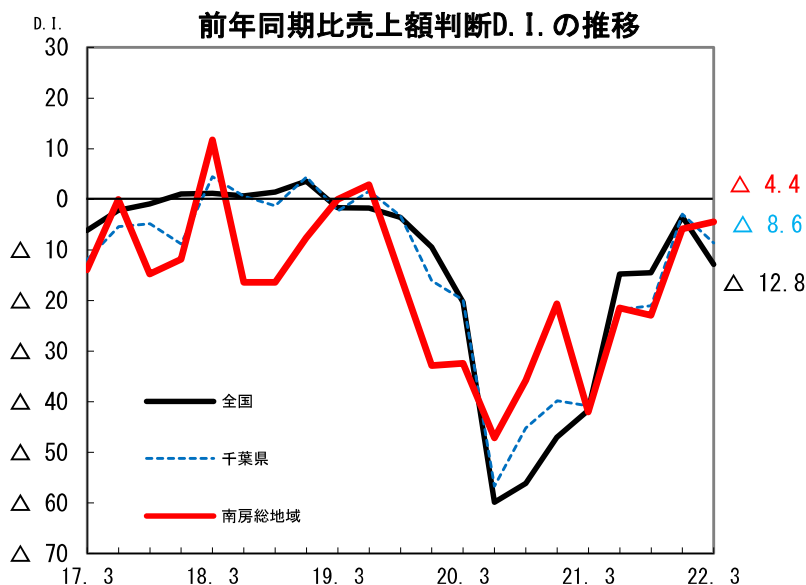


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 30.7$ と、前期に比べ10.3ポイントの低下となった。  
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 25.0$ と、前期に比べ0.4ポイントの低下となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

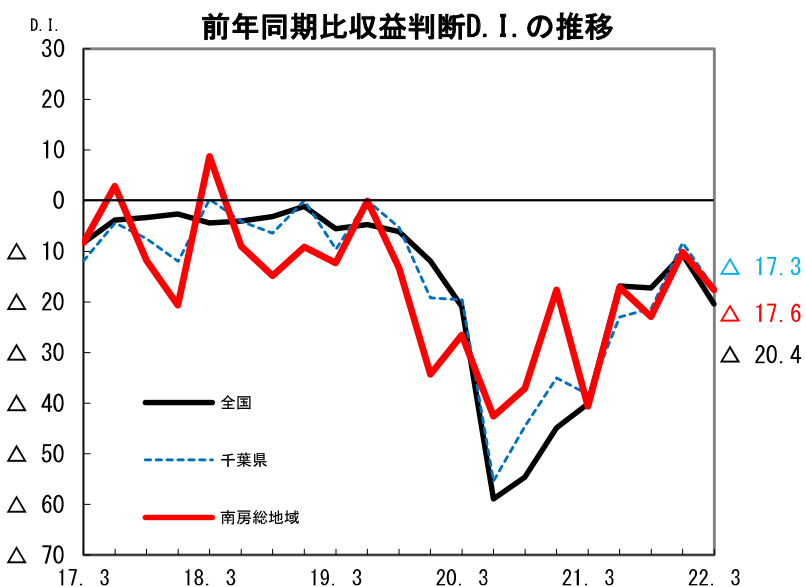
(南房総)  
売上は改善傾向

全国の前年同期比売上額判断D.I.は△12.8と前期比9.4ポイント低下となった。  
南房総地域では、△4.4と前期比1.4ポイント改善となった。  
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



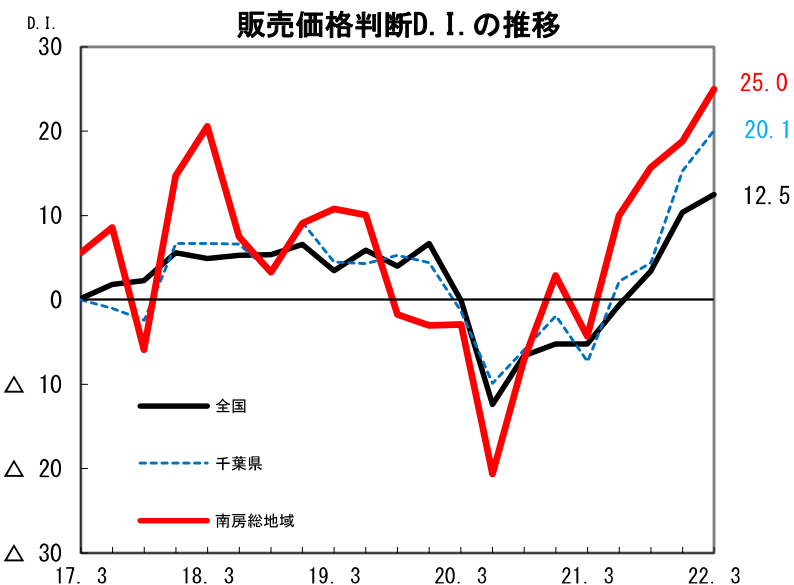
(全国・千葉・南房総)  
収益は悪化傾向

全国の前年同期比収益判断D.I.は△20.4と前期比9.8ポイント低下となった。  
南房総地域では、△17.6と前期比7.5ポイント低下となった。  
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



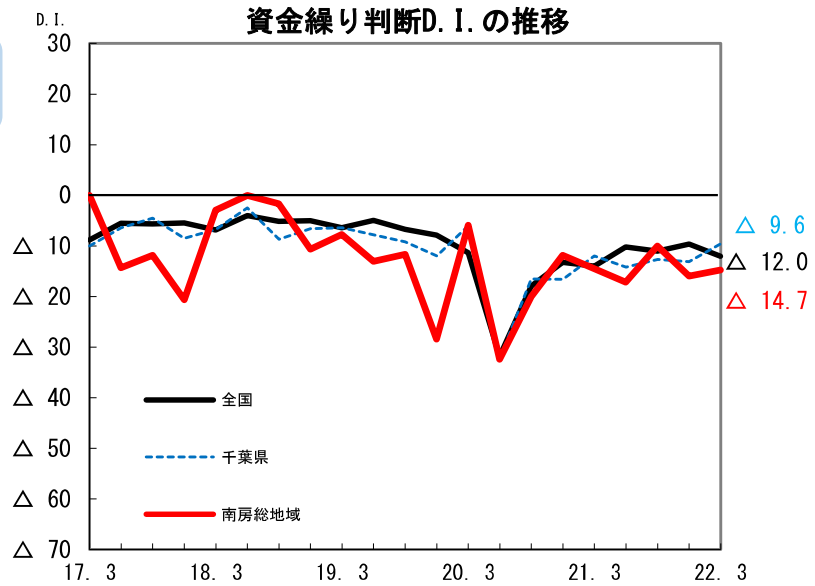
(全国・千葉・南房総)  
販売価格は増加傾向

全国の販売価格判断D.I.は12.5と前期比2.1ポイント増加となった。  
南房総地域では、25.0と前期比6.2ポイント増加となった。  
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



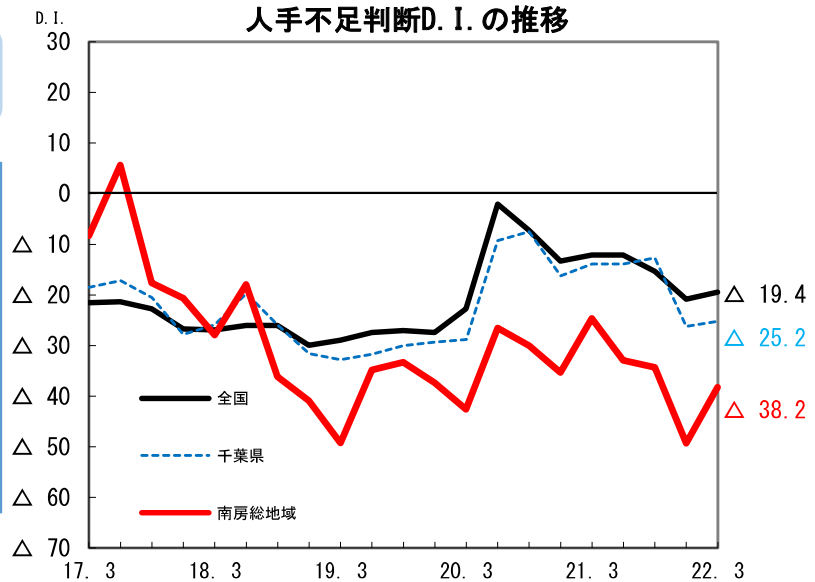
(千葉・南房総)  
資金繰りは改善傾向

全国の資金繰り判断D.I.は  
△12.0と前期比2.4ポイント低  
下となった。  
南房総地域では、△14.7と  
前期比1.2ポイント改善とな  
った。  
※資金繰り判断D.I.('楽(らく)')と  
回答した割合から'厳しい'と回答  
した割合の差、プラスほど良い)



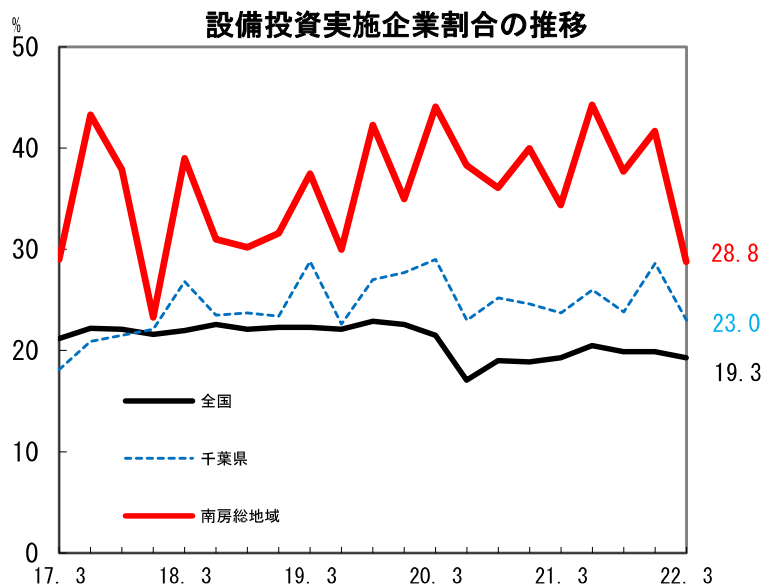
(全国・千葉・南房総)  
人手不足感は改善傾向

全国の人手過不足判断D.I.  
は△19.4と前期比1.4ポイント  
改善となった。  
南房総地域では、△38.2と  
前期比11.1ポイント改善と  
なった。  
※人手過不足判断D.I.('過剰')と  
回答した割合から'不足'と回答した  
割合の差、マイナスほど人手不足)



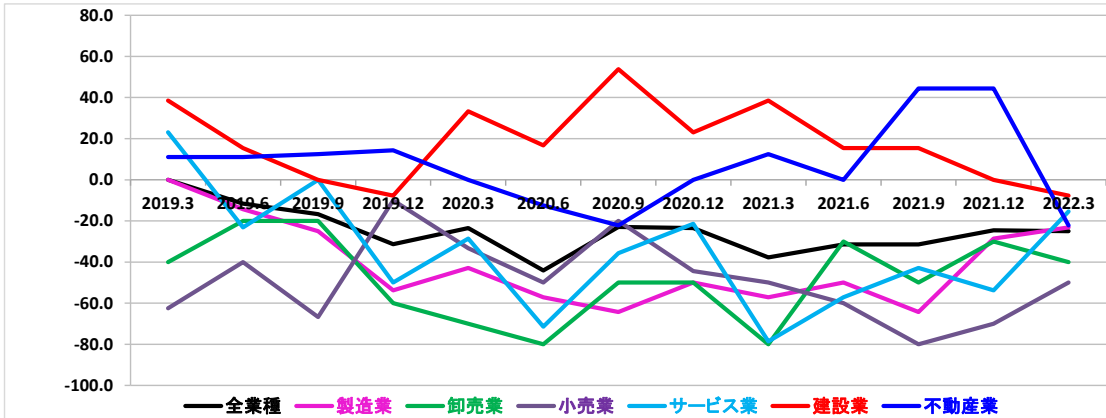
(全国・千葉・南房総)  
設備投資は低下傾向

全国の前設備投資実施企業  
割合は19.3%と前期比0.6ポ  
イント低下となった。  
南房総地域では28.8%と前  
期比12.9ポイントの低下と  
なった。  
※設備投資実施企業割合(設備投  
資を実施した企業の割合)



# 主要項目時系列表

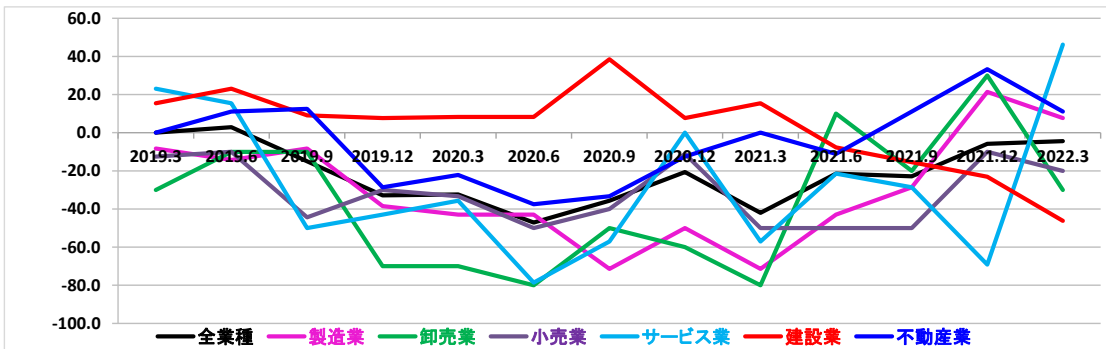
## 業況判断 D.I



区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
全業種	0.0	-11.6	-16.7	-31.3	-23.5	-44.1	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-25.0	-36.8
製造業	0.0	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-46.2
卸売業	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0
小売業	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0
サービス業	-29.3	-23.1	0.0	-50.0	-25.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-38.5
建設業	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	-23.1
不動産業	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	-33.3

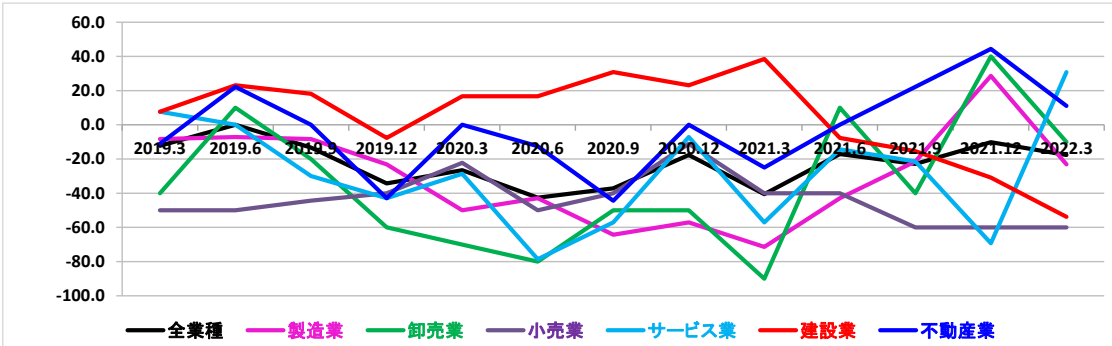
※ 2022.6は、見通しである。

## 売上額判断 D.I (前年同期比)



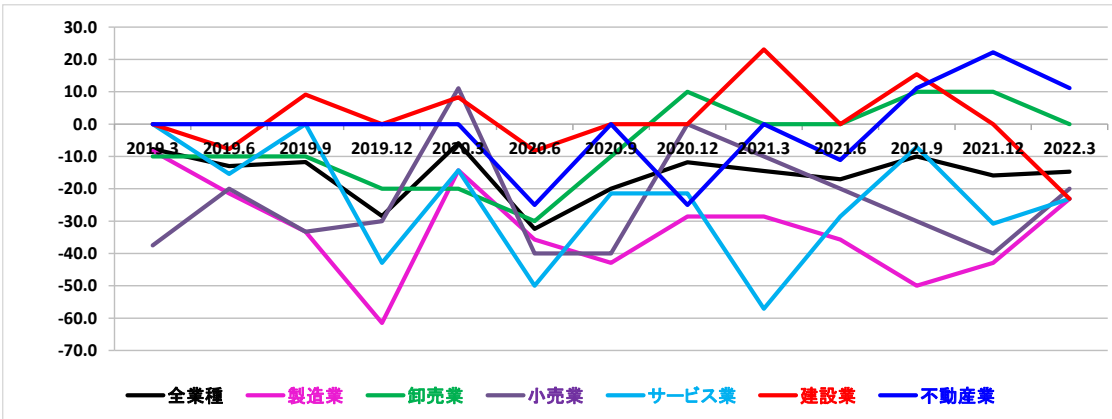
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	0.0	2.9	-15.0	-32.8	-32.4	-47.1	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8	-4.4
製造業	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7
卸売業	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0
小売業	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0
サービス業	29.3	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2
建設業	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2
不動産業	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1

### 収益判断 D.I (前年同期比)



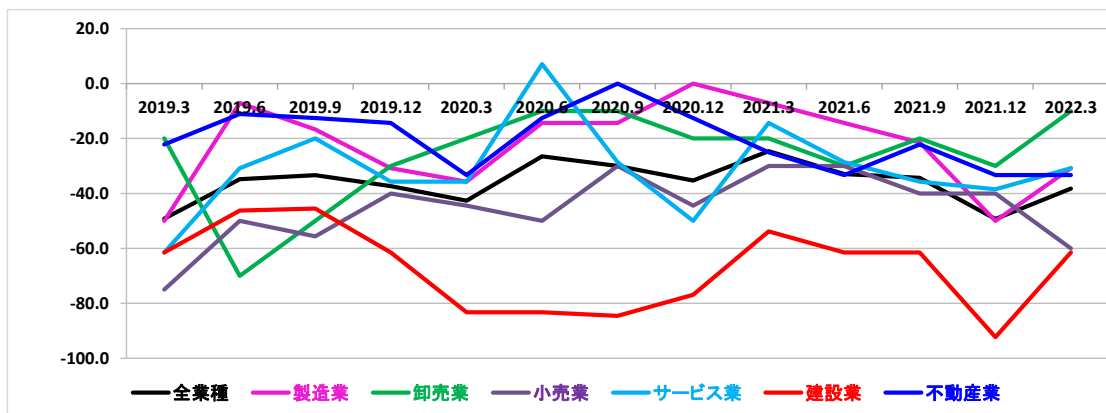
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	-12.3	0.0	-13.3	-34.3	-26.5	-42.6	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1	-17.6
製造業	-8.3	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1
卸売業	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	70.0	-80.0	-50.0	-50.0	90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0
小売業	-50.0	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0
サービス業	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8
建設業	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8
不動産業	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1

### 資金繰り判断 D.I (楽-苦)



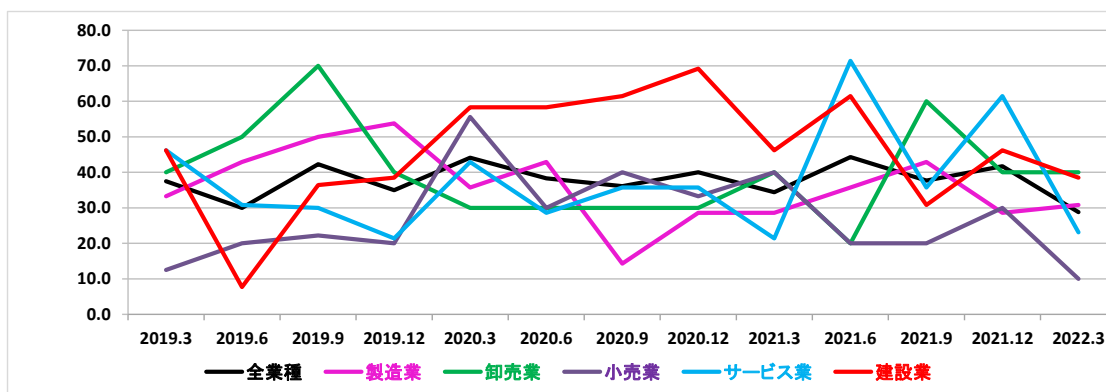
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	-7.7	-13.0	-11.7	-28.4	-5.9	-32.4	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9	-14.7
製造業	-5.3	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1
卸売業	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
小売業	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0
サービス業	0.0	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1
建設業	0.0	7.7	9.1	0.0	8.9	-8.9	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1

### 人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	-49.2	-34.8	-33.3	-37.3	-42.6	-26.5	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3	-38.2
製造業	-50.0	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8
卸売業	-20.0	-70.0	-50.0	30.0	20.0	-10.0	-10.0	-20.0	20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0
小売業	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0
サービス業	-61.5	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.5	-30.8
建設業	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5
不動産業	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3

### 設備投資実施企業割合 (%)

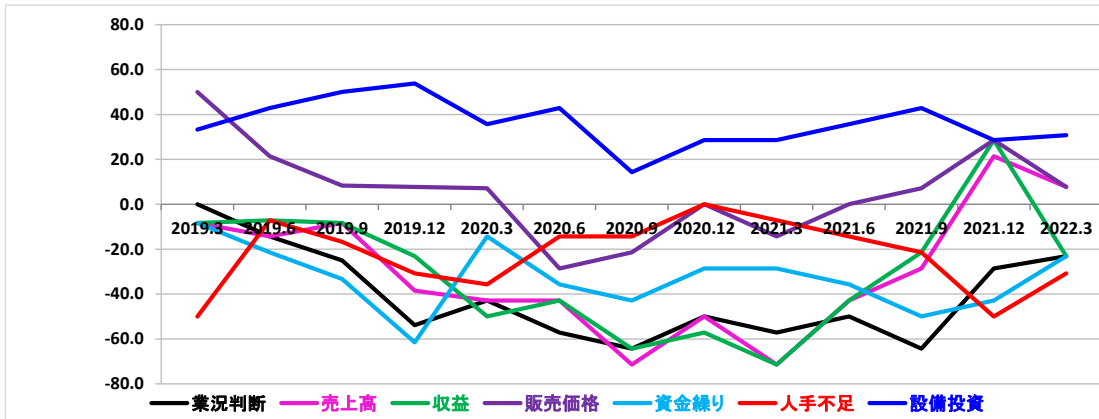


区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	37.5	30.0	42.3	35.0	44.1	38.3	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7	41.7	28.8
製造業	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8
卸売業	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0
小売業	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0
サービス業	46.2	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1
建設業	46.2	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5

※ 不動産業は、調査対象外である。

# 業種別時系列表

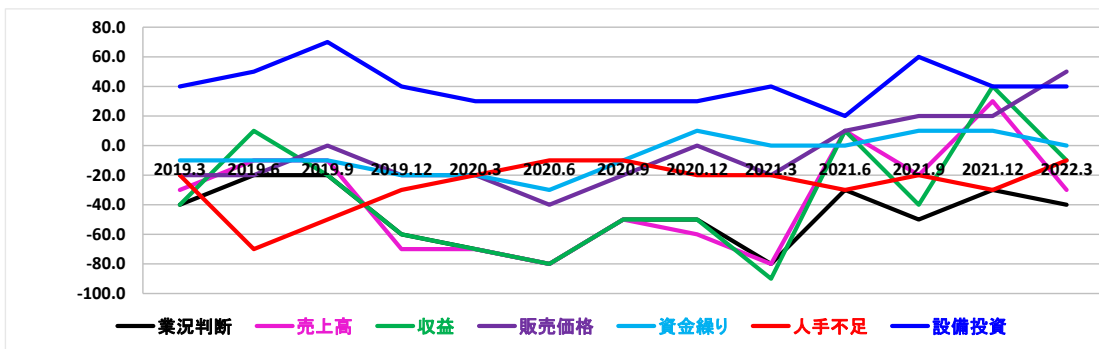
## 製造業



区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	0.0	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-46.2
売上高	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	
収益	-8.3	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	
販売価格	50.0	21.4	8.3	7.7	7.7	-28.6	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	28.6	7.7	
資金繰り	-5.0	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	
人手不足	-50.0	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	
設備投資	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	

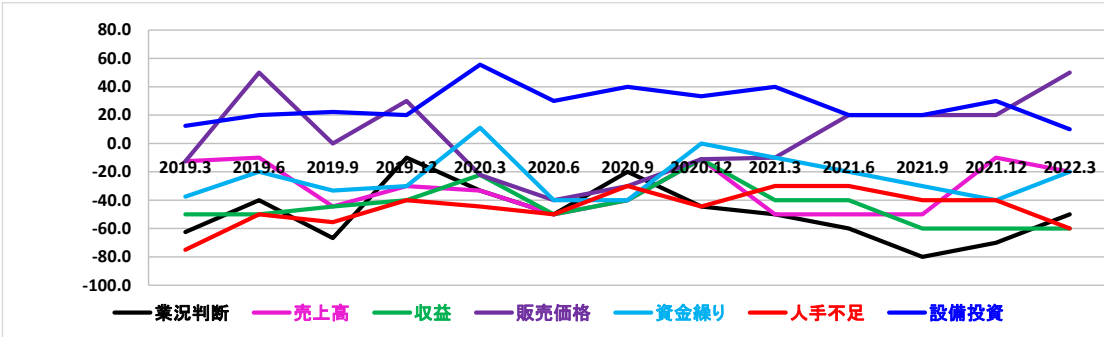
※ 2022.6は、見通しである。

## 卸売業



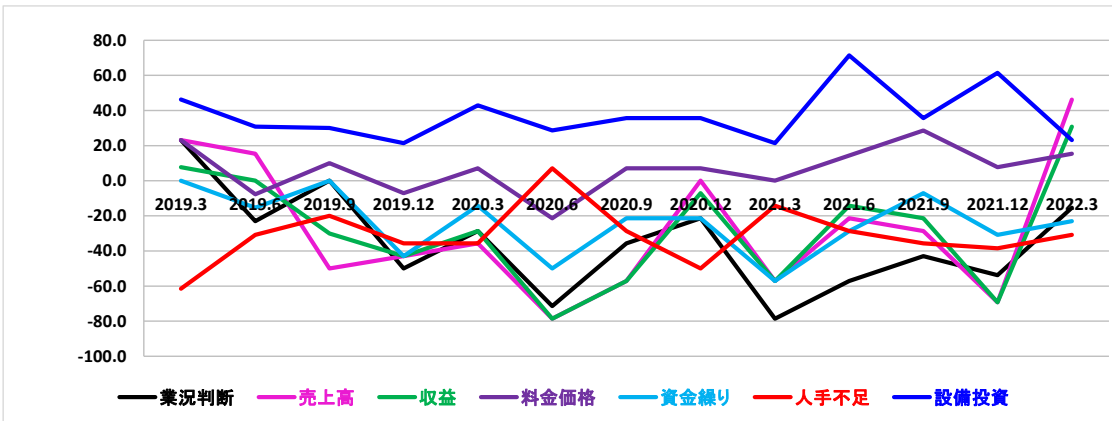
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0
売上高	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	
収益	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	
販売価格	-20.0	-20.0	0.0	-20.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	
資金繰り	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	
人手不足	-20.0	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	
設備投資	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	

## 小売業



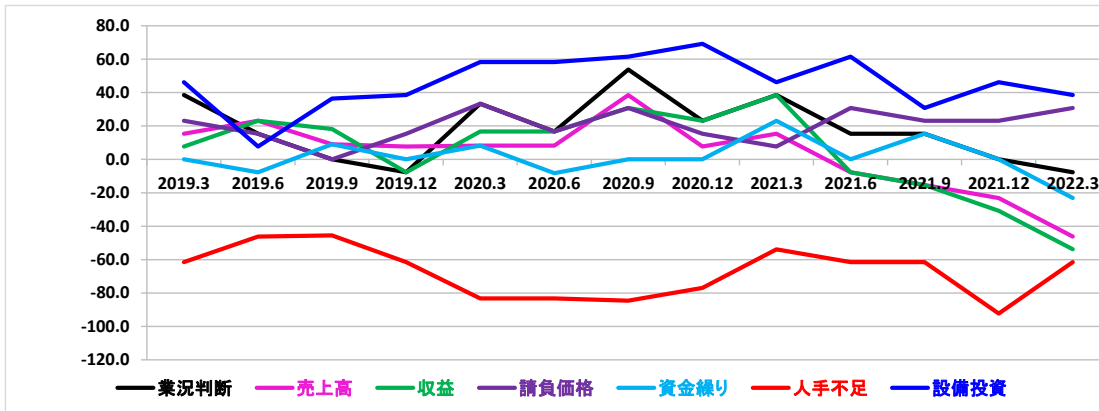
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0
売上高	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	
収益	-50.0	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	
販売価格	-12.5	50.0	0.0	30.0	-22.2	-40.0	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	
資金繰り	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	
人手不足	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	
設備投資	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	

## サービス業



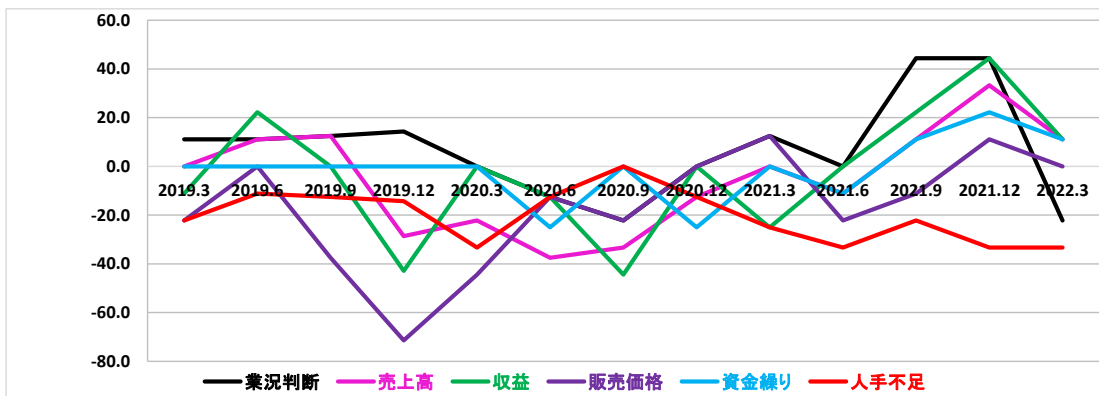
区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	23.1	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-38.5
売上高	23.1	15.4	-50.0	-42.9	-55.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	
収益	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	
料金価格	23.1	-7.7	10.0	-7.1	7.1	-21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	7.7	15.4	
資金繰り	0.0	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	
人手不足	-61.5	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.5	-30.8	
設備投資	46.2	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	

## 建設業



区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	-23.1
売上高	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	
収益	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	
請負価格	23.1	15.4	0.0	15.4	33.3	16.7	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	23.1	30.8	
資金繰り	0.0	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	
人手不足	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	
設備投資	46.2	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	

## 不動産業



区分	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6
業況判断	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	-33.3
売上高	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	
収益	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	
販売価格	-22.2	0.0	-37.5	-71.4	-44.4	-12.5	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	11.1	0.0	
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	
人手不足	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 17 特徴等  
(令和4年(2022年)1月~3月)

- 業況判断 D. I. を見ると、全国では前期比 7.9 ポイント悪化の $\Delta 27.6$ 、千葉県では前期比 10.3 ポイント悪化の $\Delta 30.7$ となりました。南房総地域においても若干悪化し、前期比 0.4 ポイント悪化の $\Delta 25.0$ という結果となりました。今回の調査は、ロシアによるウクライナ侵攻の悪影響が懸念される 3月上旬の調査となりましたが、全国、千葉県、南房総の全地域において業況悪化となりました。  
次期の予想業況判断 D. I. については、全国 $\Delta 24.8$ (今期比+2.8)、千葉県 $\Delta 24.9$ (今期比+5.8)、南房総地域 $\Delta 36.8$ (今期比 $\Delta 11.8$ )と、次期については全国と千葉県では回復を見込んでおり、南房総地域においては悪化が見込まれています。
- 南房総地域の業況判断 D. I. (前期比)の業種別では、製造業が $\Delta 23.1$ (前期比+5.5)、小売業が $\Delta 50.0$ (前期比+20.0)、サービス業が $\Delta 15.4$ (前期比+38.4)と水準はマイナスであるものの、業況は改善傾向にあります。  
一方、卸売業は $\Delta 40.0$ (前期比 $\Delta 10.0$ )、建設業は $\Delta 7.7$ (前期比 $\Delta 7.7$ )、不動産業は $\Delta 22.2$ (前期比 $\Delta 66.6$ )と悪化傾向になりました。建設業は 2019年12月期、不動産業は 2020年9月以来のマイナスとなりました。建設業では資材の高騰や調達難による工期の遅れ、また不動産業では商品物件の不足等が要因となり、マイナスに転じたと推測されます。
- 次期の見込みについては、小売業が $\Delta 40.0$ (今期比+10.0)と引き続き改善を見込んでいます。卸売業は、 $\Delta 40.0$ (今期比 $\pm 0$ )と厳しい水準での横ばいを見込んでいます。  
一方、悪化を見込んでいるのは、製造業 $\Delta 46.2$ (今期比 $\Delta 23.1$ )、サービス業 $\Delta 38.5$ (今期比 $\Delta 23.1$ )、建設業 $\Delta 23.1$ (今期比 $\Delta 15.4$ )、不動産業 $\Delta 33.3$ (今期比 $\Delta 11.1$ )の4業種となっています。
- 売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)を見ると、サービス業では 46.2 と大幅に増加しています。南房総地域におけるサービス業は飲食・宿泊業が中心であり、まん延防止等重点措置の解除前だったにも関わらず一定の観光客需要があったことに加え、前年は同時期に新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い緊急事態宣言が発令され、GoTo キャンペーンが停止されていたことなども、対前年同期比で見た場合の増加要因であると推測されます。  
そのほかの5業種は、製造業 7.7、卸売業 $\Delta 30.0$ 、小売業 $\Delta 20.0$ 、建設業 $\Delta 46.2$ 、不動産業 11.1 となっています。
- 収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)を見ると、製造業 $\Delta 23.1$ 、卸売業 $\Delta 10.0$ 、小売業 $\Delta 60.0$ 、サービス業 30.8、建設業 $\Delta 53.8$ 、不動産業 11.1 となりました。  
売上額・収益・販売価格判断 D. I. の3指標を合わせて見ると、売上額と販売価格は増加しているものの、収益判断は減少していることから、原材料・仕入価格の高騰に対して、ガソリンスタンドなど価格転嫁できている業態があるものの、

全体としては十分に価格転嫁できておらず、収益の増加に繋がっていないことが窺えます。

- 資金繰り判断 D. I. (南房総地域)は、前期比+1.2 ポイントの△14.7 と若干改善となりました。業種別で見ると、製造業△23.1 (前期比+19.8)、小売業△20.0 (前期比+20.0)、サービス業△23.1 (前期比+7.7) が低水準であるものの、改善傾向がみられました。

このほかの3業種は悪化傾向にあり、特に建設業△23.1 (前期比△23.1) については、資材の価格高騰や納入遅延等による工期の遅れが資金繰りに影響したと推測されます。

- 人手不足判断 D. I. を見ると、△38.2 (前期比+11.1) と改善傾向にあるものの、依然として低水準となっています。

設備投資実施企業割合は28.8% (前期比△12.9) と大きく減少したものの、全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持しています。

- 今回の特別調査では「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響」について確認しました。

「収益への影響」については、南房総地域では「危機的な悪影響がある」(4.4%)、「かなり悪影響がある」(22.1%)、「多少悪影響がある」(45.6%) となり、程度の差はあるものの、合計で72.1%が悪影響を受けている結果となりました。

「原材料・仕入価格の上昇のうち販売価格に転嫁できている割合」については、全国に比べて南房総の割合が高く、内訳を見ると、「仕入価格上昇の100%」が9.0%、「仕入価格上昇の80~100%」が13.4%と、ほとんど転嫁できている企業がある一方で、「仕入価格上昇の0%~20%」が16.4%、「仕入価格上昇の0%」が3.0%とほとんど転嫁できていない企業もあり、全国及び南房総ともに企業間で格差がみられました。

また、「仕入先の変更・多角化」を行っている割合は23.9%あり、「仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点」については、「仕入価格」が56.9%と最も多い結果となりました。次いで「商品の品質」(35.4%)、「安定供給力」(32.3%)、「日頃からの付き合い・紹介」(21.5%)が多く、「仕入先の見直しは検討していない」は33.8%となりました。

- 新商品や新サービスの展開で活用可能性のある補助金として、「事業再構築補助金」があり、6次締切が令和4年3月28日(月)より公募開始されています。通常枠については、補助額100万~8,000万円、補助率2分の1~3分の2で、「事業の再構築を行うこと」等が対象となります。また、第6回公募より「グリーン成長枠」が新たに設けられました。補助金の申請については、当金庫が提携をしている千葉県中小企業診断士協会のご紹介も可能ですので、お声掛け下さい。

## 原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について ※抜粋

### 原材料・仕入価格の上昇による収益への影響

項目	全国	南房総	項目	全国	南房総
危機的な悪影響	2.0%	4.4%	むしろ好影響	1.0%	0.0%
かなり悪影響	24.6%	22.1%	わからない	3.9%	5.8%
多少悪影響	48.9%	45.6%	その他	0.3%	0.0%
影響はない	19.3%	22.1%			

原材料・仕入価格の上昇による収益への悪影響については、危機的・かなり・多少を合計すると、全国では75.5%、南房総地域では72.1%と、7割を超えた。

### 原材料・仕入価格の上昇のうち、販売価格に転嫁できている割合

項目	全国	南房総
仕入価格上昇の100%	5.9%	9.0%
仕入価格上昇の80～100%程度	11.2%	13.4%
仕入価格上昇の50～80%程度	18.0%	23.9%
仕入価格上昇の20～50%程度	20.2%	26.9%
仕入価格上昇の0～20%程度	23.2%	16.4%
仕入価格上昇の0%	6.0%	3.0%
転嫁の必要なし・わからない	15.5%	7.4%

「販売価格に転嫁できている割合」については、全国に比べると、南房総地域において高い結果となった。

なお、南房総地域の内訳を見ると、「仕入価格上昇の100%」が9.0%、「仕入価格上昇の80～100%」が13.4%と、ほとんど転嫁できている企業がある一方で、「仕入価格上昇の0%～20%」が16.4%、「仕入価格上昇の0%」が3.0%とほとんど転嫁できていない企業もあり、全国及び南房総ともに企業間での格差がみられた。

### 調達遅延・数量確保困難等の問題を抱えている事業者が現在行っている対策

仕入先の変更・多角化	全国	13.1%	南房総	23.9%
------------	----	-------	-----	-------

### 仕入れ先の見直し等を検討するにあたって重視する点(最大3つまで回答)

項目	全国	南房総
仕入価格	45.9%	56.9%
商品の品質	31.5%	35.4%
安定供給力	26.4%	32.3%
日頃からの付き合い・紹介	19.1%	21.5%
配送・納期の融通	12.4%	18.5%
注文単位	4.7%	9.2%
その他	5.0%	1.5%
仕入れ先の見直しを検討していない	34.1%	33.8%

調達遅延・数量確保等への対応策として、「仕入先の変更・多角化」と回答した先が、全国13.1%に対し、南房総地域は23.9%と、全国より高い結果となった。

また、仕入れ先の見直し等を検討するにあたって重視する点については、全国・南房総地域ともに「仕入価格」が最も多く、次いで「商品の品質」、「安定供給力」、「日頃からの付き合い・紹介」が多かった。

なお、「仕入れ先の見直しを検討していない」は全国・南房総地域ともに3割を超えた。

### <調査の概要>

- ①調査時点: 令和4年(2022年)3月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。  
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 15,252企業(有効回答数13,628企業・回答率89.4%)  
千葉県332企業(有効回答数313企業・回答率94.3%)  
南房総地域 70企業(有効回答数68企業・回答率97.1%)  
※18年3月期に当地域の標本数34から70に変更しています。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。



# 館山地区 おすすめ お宿特集



## ホテル洲崎風の抄 様

〒294-0316  
館山市洲崎198-1  
☎0470-29-0301(担当:田邊)  
<https://www.sunosaki.com>



【お宿から】

海眺めの客室、海のタラソたっぷりの本格温泉、そして大手旅行社の顧客満足度アンケートで高ポイントを取り続けてきた珠玉の懐石料理。

至福の旅を楽しむための必須要素が、風の抄には揃っています。今日の休日は、「風」と語らいいに、南へと繰り出してみませんか。

## 海辺の粋な海鮮料理旅乃宿 伝平 様

〒294-0307  
館山市波左間944  
☎0470-29-0175  
<https://uminosachi-denbei.com>



【お宿から】

新鮮な素材を活かしたお料理が自慢の宿です。南房総沖で毎朝獲れる新鮮な海の幸を料理人である宿の大将が自ら買い付けに行きます。

旬の魚介類を活かした名物料理や、南房総に伝わる郷土料理をアレンジした当館ならではの味を、心ゆくまでご堪能ください。



## おさしみの宿 たるべ 様

〒294-0302  
館山市塩見225  
☎0470-29-1188  
<https://www.tarobe.net>



【お宿から】

おさしみの宿たるべの目の前には、澄み渡る美しい館山湾が広がり、さらに太平洋へと繋がる美しいノラマの海が望めます。

天気の良い日には富士山も顔を出し絶好の隠れ家として、寛ぎの我が家としてお客様の心に暖かな「ほっ」とする時間を運びます。



## ホテル川端 様

〒294-0315  
館山市西川名855  
☎0470-29-0341  
<https://hotelkawabata.co.jp>



【お宿から】

南房総・館山の紺碧な海、大島、富士山、太平洋を望む海岸、鄙の地、鄙の宿。心よい潮風がお出迎え致します。



## 南房総館山温泉 お宿やまもと 様

〒294-0034  
館山市沼974  
☎0470-22-2671  
<https://ovado-yamamoto.com>  
✉ Tateyama@oyado-yamamoto.com



【お宿から】

お宿やまもとは古くから皆様に愛された小さな宿です。地の素材を使った御料理でもてなさせていただきます。

## 天然温泉人魚の湯 旅館 海紅豆 様

〒294-0031  
館山市大賀85-1  
☎0470-23-1212  
<https://kaikouzu.com>



【お宿から】

本年1月、本館が新築完成しました。2019年の台風被災以来、ようやくオープンすることができました。これからも、よろしくお願いたします。



## たてやま温泉 夕日海岸昇鶴 様

〒294-0047  
館山市八幡822  
☎0470-23-8111(担当:酒井)  
FAX0470-23-8110  
<https://yuhikaigan-shokaku.com>



【お宿から】

素敵な展望を独占できる貸切露天風呂は、最上階に位置しており、オレンジ色に染まった壮大な夕景や天気の良い日に現れる富士山の情景は格別！(有料)



## 館山シーサイドホテル 様

〒294-0047  
館山市八幡822  
☎0470-22-0151  
<https://www.tateyamaseaside.com>



【お宿から】

私たちのホテルは、その名の通り、別名 鏡ヶ浦とも称される房総の美しい海・館山湾を臨む最高の場所に佇んでおります。

青く広大な海を見下ろす大きな湯船、思いっきり足を伸ばして浸かれる温泉こそが旅の醍醐味！

自家源泉のたてやま鏡ヶ浦温泉の湯を引き入れたオーシャンビューの大浴場でゆっくりのんびり...日頃の疲れを癒し、おくつろぎください！

## たてやま温泉 千里の風 様

〒294-0224  
館山市藤原1495-1  
☎0470-28-2211(担当:内林)  
<http://www.senrinokaze.jp>  
✉ info@senrinokaze.jp



【お宿から】

南房総国立公園、海辺の豊かな大自然の中に佇む新しいスタイルの温泉リゾートRYOKAN。

展望温泉でゆったり体を休めたり、自慢の「名物！大漁2段舟盛り」に舌鼓を打ったり...。あなただけの素敵な海旅を見つけに来てください。

